「みどりがおか」



令和7年10月21日(火) 第44号(文責:安藤真二)

「当たり前と感謝」

当たり前とは何か?それは、「当然であること」「常識的なこと」という意味と、「普通で珍しくない様子」「ありふれているさま」という二つの意味があるようだ。



(トウワタ 延岡市緑ヶ丘 2025.10.8)

例えば、洗濯。アパートにいる時には、 当然自分で毎日洗濯する。週末に家に帰っ てくると、家内が洗濯してくれる。

当たり前なんだろう。ある人はこう言った。「単身赴任の時、5日分の洗濯物を持って帰って、洗濯してもらっていた。」



(十五夜の月 2025.10.6)

この当たり前もすごいと思う。単身赴任は現在累計10年目。洗濯物がそのまま5日も放置しているのは、自分がいやだなぁと思ってしまう。

家内が朝食を用意してくれた。「ありが とう」と必ず言う。その方が、自分の心が 安定する。



(明けの明星見える? 延岡市出北 2025.10.6)

人間は身近な人にたいして「ありがとう」 をなかなか言えないようだ。高校生の修学 旅行の出発日、生まれて初めて父親に「送ってくれてありがとう」と言った。

でも、気をつけたいのは誰かに何かをさりげなくしてやったとき。お礼を言ってくれるかな?と期待すると腹が立ってくることがある。だから、大切なのは誰かのお礼は期待しない。でも誰かに対しては感謝を伝えること。きっと、これだろう。



(形が面白い雲 延岡市緑ヶ丘 2025.10.12)